

令和4年度 三木市立勤労者福祉センター運営委員会 会議録

1 日時・場所

令和4年7月1日(金)15時00分～16時00分

三木市立勤労者福祉センター(サンライフ三木)2階 会議室

2 出席者

(1) 委員(11名)

岸井委員長、廣田副委員長、竹内委員、清水委員、赤松委員、三村委員、齊藤委員、長谷川委員、崎本委員、梶谷委員、岩崎委員

(欠席：高谷委員)

(2) 事務局(4名)

小山商工振興課長、平井商業労政係長、友定商業労政係主事、澤井所長

3 議題

(1) 正副委員長選出

(2) 報告事業

ア 令和3年度の利用状況及び事業実績について

イ 令和3年度決算について

ウ 雇用状況について

(ア) ふるさとハローワークについて

(イ) 月報「ハローワーク西神について」

エ 新型コロナウイルス感染症対策について

(3) 協議事項

ア 令和4年度の事業計画について

イ 令和4年度予算について

ウ 長寿命化の実施について

4 公開・非公開 公開

5 傍聴人の数 0人

6 議事の内容

事務局より、委嘱状の交付と会議公開、会議成立の説明、各委員の自己紹介後、「3 議題」について協議した。

事務局	委員長、副委員長の選出でございますが、三木市立勤労者福祉センター条例施行規則第12条第2項及び、三
-----	---

	木市立勤労者福祉センター運営委員会要綱第5条第2項の規定により、委員の互選となっておりますが、いかがいたしましょうか。
委員	(事務局一任の声)
事務局	事務局一任の声をいただきましたので、僭越でございますが事務局からご提案申し上げます。 委員長に岸井様、副委員長に廣田様としてお願いしたいと思っております。ご了承いただける場合は拍手をお願いします。
委員	(承認の拍手)
事務局	ありがとうございます。それでは、岸井様、廣田様よろしくお願いたします。 ここで正副委員長様より今一度、ごあいさつを頂戴したいと存じます。まず、岸井様よりお願いします。
委員長	サンライフ三木の実際の運営そのものについてはいつもお使いいただいている皆様の方が私より、詳しいのではないかなと思っております。全体の流れ、予算、決算、事業計画などその辺りのことについてはそれぞれ皆様の意見を聞きながら、検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願したいと思っております。
事務局	ありがとうございました。 続きまして、廣田様よろしくお願いたします。
副委員長	利用者団体連絡会の代表として、この会議に出席させていただきます。 私、三木市の高齢者大学のクラブの一つであります太極拳クラブということで、ここを利用させていただいています。毎月第2、第3、第4土曜日の3日間はここを利用して練習をしております。 こういうことで利用者代表というのは、分かるのですが、副委員長に選ばれてしまって、どうしようかなと思っております。要綱によりますと委員長の補佐ということですので、できる範囲内で務めてまいりたいと思っております。

	<p>よろしく申し上げます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、以降の進行につきましては、委員長にお願いいたします。</p>
委員長	<p>これから、委員の皆様と三木市立勤労者福祉センターについて協議してまいりますので、ご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、次第に則り、順次進めてまいります。</p> <p>まずは次第「6 報告事項」について、事務局より説明願います。</p>
事務局 (三木市)	<p>(資料に基づいて説明)</p> <p><補足事項等></p> <p>ア 令和3年度の利用状況及び事業実績について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対応の施設閉鎖の影響等が続いている。(利用減少) <p>イ 令和3年度決算について</p> <p>(歳入では)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調設備工事を実施したため、管理費が例年と比べて1,400万円程度増加している。 <p>(歳出では)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は感染症対策のため、パーティションや消毒液の購入により、需用費が増加したが、令和3年度は消毒液等を寄付でいただいたため、減少した。 ・令和3年度は本館の空調設備工事を実施した関係で、設計監理委託料285万円、工事請負費1,122万円が例年と比べて増加している。 <p>ウ 雇用状況について</p> <p>(ア) ふるさとハローワークについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし(配布資料の通り)
西神ハローワーク 所長	<p>ウ 雇用状況について</p> <p>(イ) 月報「ハローワーク西神について」</p> <p>【概略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県の4月 有効求人倍率0.94倍(前月比0.01増)

- ・兵庫県の4月 新規求人倍率 1.83倍(前月比 0.06増)
- ・兵庫県の4月 新規求人数 11.3%増
(7か月連続増加中)
- ・新規求人数を産業別にみると医療福祉系は 17.7%の増加。製造業は 24.9%の増加。(製造業は、様々な業種があり、業種間での差が見られる。)
- ・「宿泊業・飲食サービス業」は 13.9%減少。全国的にはコロナ禍が落ち着いたため 49.6%増えているが県内では減少。

-
- ・西神ハローワーク管内の4月
有効求人倍率 0.67倍(前年度同月は 0.63倍)
県平均を大きく下回っている。
 - ・コロナ禍を経て動きが活発な事業所と厳しい状況にある事業所間で差が大きい。
 - ・人手不足感が大きな事業所があるものの、求職者の希望する雇用形態や職種の求人が少ないので、マッチングが難しい状況にあると言える。
 - ・西神ハローワークの管内には西神に4つ、三木に1つ、計5つの工業団地があり、大きな工場がたくさんある。それらから求人をいただければいいが、人事権が西神になかったり、本社機能が管外で西神ハローワークに求人を出せないなどの事情があり、西神のハローワークは求人が少ない。
 - ・西区には働きに来る人も多く、住んでいる人は多いが、求職も少ない状況となっている。
 - ・西神ハローワークは充足数(西神のハローワークに事業所が求人を出して、西神ハローワークでマッチングできること)も少ない。

-
- ・兵庫県で、
正社員を希望する有効求職者 53,643人
有効求人数 38,536人
有効求人倍率 0.72倍

	<p>安定した正社員希望は多いが、求人は少ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西神所管内の正社員の有効求人倍率は、0.57倍。更に低い。 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三木市のふるさとハローワークは、一定の役割を果たしているが、ハローワークの利用も時代とともに変わっている。 ・ハローワークに足を運んで、そこで求人を見つけて、面接に行くというのが従来の形だった。その形は今もあるけれど、オンラインへの移行が進んでいる。 ・若者は、テレビのCMなどで見られる民間の求人サイトを利用しがちで、ハローワークに足を運ぶことが少なくなっている。 ・ハローワークでも、民間のサイトと同じように求人のオンライン受付や、求職のスマホ閲覧、アカウント登録をしておけば企業とのオンラインでのやりとりなどもできるが、周知が進んでいないので宣伝等に力を入れなければいけないと考えている。 ・ふるさとハローワークの利用者の約7割は三木にお住まいの方で、3割の方が三木市内の企業に紹介されている。 ・オンラインでも求人求職活動はできるが、それができない方、または対面でやりとりしたい方には、ふるさとハローワークを使ってもらいたい。 ・デジタル化は進んでいるが、ハローワークを頼ってこられる方、障がい者、高齢者、母子家庭の方々などには寄り添いながら、雇用維持などに取り組んでいる企業の支援や、全ての方が活躍しやすい環境の整備を、ハローワーク西神や労働局の重点課題として今年度も取り組んでいく。
委員長	<p>ありがとうございました。それでは報告事項の(1)から(4)の内容についてそれぞれの担当の方からご説明いただいたのですが、ご意見やご質問等がありましたら、お受けしたいと思います。</p>

副委員長	三木市の事業所が求人を出すときは、ふるさとハローワークに出すのですか。
西神ハローワーク 所長	三木市のふるさとハローワークは相談だけで、求人を出していただくのは西神公共職業安定所になります。
委員	兵庫労働局「一般職業紹介状況（令和4年4月分）」資料5ページの地域別有効求人倍率のグラフについて、阪神間が低くて、淡路地域の方が高いのは何か理由があるのですか。
西神ハローワーク 所長	淡路地域は島内で完結するという特殊事情があります。有効求人数になると阪神間の方が多いです。淡路地域は島内で求職される方が多く、外に出ていく方が少ないと伺っております。それを考慮し、会社側も島内の方を希望して募集をかけるなど特殊な地域性がありますので、これだけでの判断はできません。
委員長	運営委員会資料の7ページ目、ふるさとハローワークの実績報告に「求人預かり件数、人数」が載っていて、実績は0です。先ほど、「ふるさとハローワークでは就職紹介・相談のみ」とのご説明でしたので、「求人預かり件数、人数」は今後増えないということですよ。
事務局	この2年ほどは0という報告を頂いております。
委員長	今後、この数字が増えるということはあるのですか。ないのであれば、項目を削除されてははいかがでしょうか。
事務局	3年ほど前にはあったと思われませんが、今すぐに確認できないので来年度の資料では検討させていただきます。
委員長	他にご意見ご質問等ございませんか。なければ、次の議題に移りたいと思います。それでは次第「7 協議事項」について事務局より説明願います。
事務局	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ア 令和4年度の事業計画について</div> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし（配布資料の通り） <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">イ 令和4年度予算について</div>

	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に行った空調の電気化や燃料の高騰等を見込み、需用費を増加させている。 ・総合保健福祉センターが新型コロナウイルスのワクチン対応、感染者の食料配布などの対応のため、トレーニング室をまだ開けられない状況にある。そちらを利用されていた方を当施設でも受け入れており、機器が不足している状況にあるので、トレッドミルを1台購入するための予算をつけている。しかしながら、トレーニングルームの年間保守を引き受けてくれる業者を確保するのも困難になっており、昨日、ようやく、業者から保守可能との返答をもらったので、今から購入の手続きに入る。年度早々の購入を予定していたが、保守業者が確定しなかった関係で遅くなってしまっている。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ウ 長寿命化の実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市が令和3年3月に策定、公開した公共施設再配置計画についての説明後、その中で示されたサンライフ三木の長寿命化予定時期について説明。 ・令和6、7年度の長寿命化に向けて、この運営委員会の場において、バリアフリー化や施設の避難所機能維持、中小企業サポートセンターの安全確保などを行っていくことも説明。 ・トレーニングルームについては、市内に7つの公営のトレーニングルームがあり、うち、4つが半径2.5km内に集中しているため、サンライフ三木の機器更新は困難な旨を説明。 ・多目的ホールについても、近隣に4つの代替施設があることから、存続は困難な旨を説明。
<p>委員長</p>	<p>ただいま事務局の方から説明いただきました。</p> <p>皆様方に大きく関係するのは長寿命化だと思われま す。最終的にここで決定するというわけではないのです が、大きな流れと個別具体的な流れというのはどうし ても相反する部分が出てこようかと思いますので、ご意 見ご要望等がございましたら、お受けしたいと思いま す。</p>

副委員長	多目的ホールの利用停止または減築とはどういうことですか。
事務局	利用を停止するか、または取り壊し更地にするかで、更地にする場合、減築ということになります。
副委員長	トレーニングルームの廃止の説明もありましたが、サンライフ三木としての機能は何が残るのでしょうか。
事務局	コアな機能として、ふるさとハローワーク、中小企業サポートセンターの機能及び貸館になると考えております。
委員	トレーニングルームは廃止になると思うのですが、本年度予算にある備品購入費の 100 万円はいらぬのでは。
事務局	長期的な課題と、現在の課題を分けて考えておりまして、現在、(総合保健福祉センターからの利用者流入で)トレッドミルが長時間利用できないので改善してほしいという要望を頂いております。
委員	それならば、総合保健福祉センターから借りて来ればいいのでは。
事務局	<p>そちらも検討はさせていただいたのですが、運送費だけで5万円、10万円と掛かる上に機器の破損等があった場合に補償がありません。もし、業者に運んでもらうとなると1回20万円ほどかかることになり、持って来ることが難しい状況です。</p> <p>総合保健福祉センターには、トレッドミルを搬出入できるエレベーターがないことも大きな障壁となりました。</p> <p>一方で、先日、緑が丘町公民館がトレーニング機器を更新したため、機器2台いただくというようなことはしております。</p>
副委員長	令和4年度中に方針を示しというようなことですが、運営委員会でこれを決めることになるのですか。
事務局	公共施設再配置計画の中で、大方針は出しておりまして、担当課として、初めて利用者の皆様に、こういう形

	<p>での実施を考えていますというのを今回お示ししました。</p> <p>何事もなければ、このままの計画で準備させていただくつもりです。</p>
副委員長	<p>我々のクラブは月に3回は定期的に使わせてもらっているのですが、意見を言えと言われてたら、反対です。</p> <p>多目的ホールをメインに使わせていただいているので、このままで行くと廃止ということなので、「OKです。」と大きなことは言えません。</p>
事務局	<p>多目的室ですが、空調設備を40年近く更新していない状態です。これを更新しようとするすと二千万円以上はかかるだろうということ、少しの修理をするだけでも数百万円かかるということが分かっています。これらの修理をしても、直るか、潰れるかが分からない状況です。</p> <p>もし、多目的ホールの空調が故障しても修理するのは難しい状況があるため、「利用停止」という表現にしております。</p>
委員長	<p>大きな計画の中で触れているものなので、仮にどうこうできる部分はないと思うのですが、ほかの4施設が代替施設という話がありましたので、今の団体をスムーズにそちらへ斡旋というか、移行出来るようなお力添えというのは必要だと思います。</p>
委員	<p>特にサンライフには愛着があります。</p> <p>もともとここは営林署の土地だったのですが、営林署から購入し、ここには消防署が立つ予定でした。</p> <p>サンライフの基礎工事をしていた時に営林署が視察に来たことなど、色々な思い出があります。</p> <p>なので、なるべくここは残していただきたいなと思っています。</p>
事務局	<p>長寿命化するにあたってバリアフリー化など悪いことばかりではないと思っています。</p> <p>もし、こういう減築をしたらその分駐車場が増えるなど、色々なことが考えられます。</p>

	<p>ただ、40年近く、ほとんどメンテナンスをできない形で使ってきて、使用を続けるに当たってはメンテナンスが必要で、石綿なども使われていますので、工事をするとなると、利用を停止しないとどうにもならないという状況です。</p>
副委員長	<p>少し改修するとして多大な費用がかかるのは分かります。将来的に多目的ホールが使えなくなるというのも分かります。</p> <p>しかし、一応要望として、太極拳クラブの練習は毎月第2、第3、第4土曜日に使わせていただいている、第1と第5は高齢者大学の体育館でやっているのですが、高齢者大学の体育館は遠いです。</p> <p>ここであれば、30人くらい参加するのですが、高齢者大学の体育館だと10人ほどしか参加しません。ここは立地条件がものすごくいいです。</p> <p>駐車場の話をされましたけど、広い駐車場があつて、ここであれば参加するという人が多いので、利用している団体があるということのを頭の隅に置いておいて欲しいです。</p> <p>できるだけ長く使わせていただきたいと思います。</p>
委員 (赤松産業振興部長)	<p>私、委員という立場か事務局という立場か分かりにくいのですが、お話をさせていただきますと、利用者団体様の皆様は、今使っておられるところに対しては、非常に愛着があると思います。</p> <p>利用されているその1つの箇所がなくなるということについては、寂しい思いもあり、不便になる、新たにどこでやっていいのかというのは思いがあるのは、重々分かっております。</p> <p>ただ、先ほど事務局からも説明させていただきましたように、なかなか手入れができていません。本館については、空調を昨年に改修させていただいて、それなりに快適な状況になっております。</p> <p>多目的ホールについては、空調だけではなく色々など</p>

	<p>ころが傷んできており、なかなか、快適な利用までは行かないような状況になりつつあります。</p> <p>それと比べますと、近隣には福井コミュニティセンターや総合体育館も広いアリーナだけではなく、小規模の部屋、運動ができるような部屋もございますし、市としては他施設の利用促進もしていきたいというふうに思っております。</p> <p>公共施設再配置計画につきましては、昭和40年代の高度経済成長期時代に、三木市も緑が丘団地の開発であるとか人口が一気に増えて、そういった中で公共施設も建築をさせていただきました。バブル期もそうですし、最近であっても図書館など、必要な施設については随時整備させていただきました。</p> <p>結局は持続性のあるまちづくりが可能なのかどうかという大きな観点から、その再配置計画というのを策定させていただいております。</p> <p>一方的に市が決めたものをすべての利用者様に、「分かってほしい。」ということではなく、ご意見を伺いながら、させていただきます。ただ、大きな観点についてはご理解いただいて子や孫に素敵な三木のまちを残していきたいという思いでさせていただいております。</p> <p>概念的なお話でありましたが、そういうことを踏まえていただいた上で、この説明をさせていただきたいと思っております。</p>
委員	<p>当初、ここができた時は周りにこんな施設がなかったので、勤労者にかこつけて全て作ってしまっています。</p> <p>その後、施設がたくさん出来たので、見直しは絶対必要だと思います。そのような事をし続けていると、三木市が無くなってしまいます。ただ、長寿命化はいいことだと思います。</p> <p>本来の勤労者のための機能だけで良く、多目的ホールやトレーニングルームなどは他にも多くの施設が周りがあるので、役割分担をすればいいと思います。</p>
委員	<p>トレーニングルームについてもそれぞれ近隣にある</p>

<p>(赤松産業振興部長)</p>	<p>と言いながらもそれなりに特色があります。行政側が提供させていただくのはやはり健康づくりなどの目的であるべきだと私は思っています。</p> <p>最近では、三木市でも民間の本格的なトレーニングジム等がございます。</p> <p>ダイエットなどに特化したようなものもありますので、目的に応じて、そういったところも利用していただきたいと思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>非常に貴重な意見ありがとうございました。</p> <p>私も1点だけ気になるのは、中小企業サポートセンターやふるさとハローワークは残りますよということですが、果たしてこれだけでいいのかと思いました。</p> <p>先ほど言われた雇用促進及び福祉の向上ですが、施設の規模が縮小するだけではなく、その目的にあったような何か新しいものを考えていく必要があるのかなというふうに思います。</p> <p>何かあるのかと言われたらちょっと困るのですが。</p> <p>そういう中で、また皆様方に知恵を出していただいて、このサンライフがより充実するように、検討していただけるとありがたいというふうに感じています。</p> <p>ということで、この議題等についてはこれで終わらせていただきたいと思えます。どうもありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>どうもありがとうございました。委員の皆様におかれましては、長時間にわたり三木市立勤労者福祉センターの運営について協議を賜りありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、三木市立勤労者福祉センター運営委員会を閉会いたします。</p>